

ご使用に際して、この説明書を必ず読んで下さい。
また、必要な時に読めるよう本剤とともに保管して下さい。

葛根湯エキス顆粒S

(かっこんとう)

第2類医薬品

本剤は、漢方の古典「傷寒論」「金匱要略」に収載されている葛根湯に準拠して製造されたエキス顆粒剤です。



使用上の注意



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
- (4) 胃腸の弱い人。
- (5) 発汗傾向の著しい人。
- (6) 高齢者。
- (7) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- (8) 次の症状のある人。：むくみ、排尿困難
- (9) 次の診断を受けた人。：高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	消 化 器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、ミ オ パ チ ー	手足のだるさ、しびれ、つばり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝 機 能 障 害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

- 3. 1ヵ月位（感冒の初期、鼻かぜ、頭痛に服用する場合には5～6回）服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
- 4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

【効能・効果】

感冒、鼻かぜ、頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛み

【用法・用量】

下記の量を食前又は食間に水又は白湯にて服用して下さい。

年 齢	1回量	1日服用回数	年 齢	1回量	1日服用回数
大人(15才以上)	1包	3回	7才未満4才以上	1/2包	3回
15才未満7才以上	2/3包		4才未満2才以上	1/3包	
			2才未満		
					服用しないこと

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- (2) 用法・用量を厳守すること。

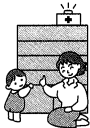
【成分・分量】 [本品1日量3包(1包1.5g)中]

日本薬局方 カ ッ コ ン	2.0g	日本薬局方 シ ャ ク ヤ ク	1.0g
日本薬局方 マ オ ウ	1.5g	日本薬局方 カ ン ソ ウ	1.0g
日本薬局方 タ イ ソ ウ	1.5g	日本薬局方 シ ョ ウ キ ョ ウ	0.5g
日本薬局方 ケ イ ヒ	1.0g	より製した水製乾燥エキス	1.80g

添加物として、乳糖、メタケイ酸アルミン酸Mg、ステアリン酸Mgを含有する。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。
- (4) 1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り曲げて保管し、2日以内に使用すること。
- (5) 本剤は生薬を原料としたエキスを用いた製品ですから、製品により色調や味が多少異なることがあります。効果には変わりありません。



【問い合わせ先】

本製品についてのお問合せは、お買い求めのお店、または下記にお願い申し上げます。

東洋漢方製薬株式会社「お客様相談室」

電話 0120-00-1040

受付時間 9：00～17：00（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度の問合せ先
（独）医薬品医療機器総合機構
電話 0120-149-931

製造販売元

 東洋漢方製薬株式会社

〒584-0022 大阪府富田林市中野町東2丁目1番16号